

一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり

このフレーズは皆さんもよくご存じですよ。ただし、一日の方は初めての人も。文字通り一日の計画は早朝に立て、一年の計画は元旦に立てる。と言う意味です。

朝は「あした」と読み、早朝のことです。だから、一日のはじめに遅刻などしては、最初から計画が崩れてしまい、その日一日を無駄に過ごすことになってしまうのです。

また、元旦とは一月一日の早朝のこと。「旦」は、地平線から昇る朝日を表しています。

さて、早いものでもう師走。この「師」は、じつは先生のことではなくて、お坊さんのことだとか。皆さんは、今年一年計画通りに生活できましたか。残りわずかな今年を、もう一度しっかり振り返って、来る年に備えましょう。そして元旦には、一年生は高校生活で一番輝ける一年に、二年生はいよいよ一番大事な一年に、そして三年生は新しい旅立ちの一年に、それぞれふさわしい希望に満ちた計画を心に刻みましょう。

丁酉年師走月朔日